

福智文恵 先生

中国・天津市のご出身

10月15日より12月3日にかけての毎水曜日午後、全8回の「中国語講座(入門)」を担当された福智文恵先生に「中国語」の魅力や杉並での生活などのお話をうかがいました。(広報部Y)



福智文恵先生

●第一印象は、おおらかでとても明るい先生でした。また、流暢な日本語！先生は10年前に来日したのですが、日本との出会いは大学での授業でした。そこで「日本語」を専攻し、その学習は集中的に「構文」を暗記し習得していったそうです。その後、生活していた天津市から来日、現在に至り、更に日本語力がついたようです。また、とても魅力的なおおらかさは、出生地が河北省ということから、漠然と「大陸的な」といった雰囲気を感じさせるのかもしれないなどと思いました。最終日の授業を拝見しましたが、そんな先生の個性を反映してか、明るく和やかな中で、充実した時間を共有している受講生の姿が印象的でした。

●「中国語」について、身近な観点からうかがいました。講座で取り上げた「中国語」とは、中国でいう「標準語」で、様々な方言が存在しているなかで、「北京語」といわれるものがそれにあたることでした。また、それに付随して、55の民族があるといわれている中で、その民族毎に言語があっても、固有の文字を持っていることは少ないなど、中国の言語状況もわかりやすく説明してくださいました。私たち日本人が、「中国語」を知るといことは、日常生活にどんな影響や効果があるのでしょうか？という質問には、笑顔で、「中国人の友人ができますよ」と。あたりまえのことですが、その訳は、「とにかく中国人は明朗な人が多いので、ちょっとした「中国語」さえ使えたらすぐ打ち解けられると思います」とのことでした。また、「歴史」好きには、「中国関連の歴史などを深めるのに役に立つでしょう」と。そして、「健康」に関心がある人には、「漢方」に道を開く手助けになり、「ひいては健康になっていくことでしょね」などなど、話題が様々な方面に展開していききました。最後に先生が強調されたのは「中国語」の魅力ある「発音」についてです。「声調(せいちょう)」といわれる独特のトーン、抑揚のようなものが発音の特徴です。これをきちんと習得することが大切だそうです。これが中国語の魅力でもあり、語学力をつけるポイントだそうです。



●杉並区と福智先生
先生は来日以来ずっと杉並区在住です。二人のお子さんの成長とともに「ママ友」も増えたり、杉並区民の生活感覚が、ご自身に合っているようで大した違和感なく生活できているとのことでした。また、交流協会で実施している「外国人サポートデスク」のボランティア通訳としてもご協力くださるなど、積極的に活動して下さっています。
今回の「中国語講座(入門)」には、10名が受講しました。

中国語としてにより



中国の魅力をお伝えしたいです。



Event Information from SACE 交流イベント情報

文化・交流課から
◆国内交流自治体物産販売◆
●南伊豆町観光物産展
干物や海藻など静岡県南伊豆町の特産品販売
◇日時：2月2日(月) 11:00～14:30
◇場所：区役所中杉通り側入口前および区役所1階ロビー

●交流自治体合同物産展
「蚕糸の森まつり」に杉並区の交流自治体が参加し合同物産展を開催
◇日時：3月29日(日) 10:30～15:00
◇場所：蚕糸の森公園 運動場(杉並区和田3-55-49)
問合せ：区役所文化・交流課交流推進担当
Tel：03-3312-2111(代表)

売り切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。

「交流ニュース」へのご意見・ご要望・メッセージなどをお寄せください。お待ちしております。



交流協会の会員になりませんか？ 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか？

●年度会費
・個人会員 1,000円/年(9月以降入会の場合は初年度に限り500円)
・法人会員 20,000円/年
●会員期間
入会の月から3月31日まで(当年度末)

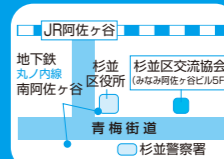
●会員特典
① イベントの情報や交流に関する情報紙「交流ニュース(年4回発行)・NEWS LETTER(年8回発行)など」をお届けします。
② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。
③ イベント参加費に会員割引があります。

●申込方法
入会希望の方は杉並区交流協会まで電話・ハガキ・Fax・E-mailにより申込書類をご請求ください。

すぎなみ交流ニュース

第35号
2015年1月

Suginami Cultural Exchange News
수기나미 교류 소식
杉並的交流消息



会員になりませんか？
～詳細は裏表紙～



◆発行:杉並区交流協会 [Suginami Association for Cultural Exchange (SACE)]
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階 [Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail:info@suginami-kouryu.org
<http://www.suginami-kouryu.org/>

◇年4回発行◇協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。 R40 この印刷物は古紙配合率40%の再生紙を使用しています。

第12回 日本語スピーチ大会 観覧者募集 Japanese Speech Contest

日本で暮らしている外国の方の日本語スピーチを聞いてみませんか？日本に住んでいて感じたこと、体験したこと、自分の国の話などを発表します。入場無料です。多くの方のご来場をお待ちしています。



昨年度の受賞者



ネパール人学校からも参加

【日時】2015年3月7日(土) 13:30～17:00
【場所】座・高円寺2(杉並区高円寺北2-1-2) JR中央・総武線 高円寺駅北口より徒歩5分
【募集人数】200名
【参加費】無料
【申込方法】電話・ハガキ・FaxまたはE-mailにて、氏名(ふりがな)・住所・電話番号(あればFaxも)を記入して、杉並区交流協会まで。
【主催】杉並区交流協会
【共催】杉並区・東京杉並ロータリークラブ
【問合せ】杉並区交流協会
TEL:03-5378-8833
FAX:03-5378-8844
E-mail:info@suginami-kouryu.org
<http://www.suginami-kouryu.org/>
〒166-0004 杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階

外国人のための無料専門家相談会 Free Professional Consultation for Foreign Residents

年金・保険・税金に関する問題、ビザ・結婚・離婚・仕事に関する問題など、弁護士などの専門家と無料で相談ができます。予約受付可。秘密厳守。通訳ボランティアあり。託児あり(要予約)。



【日時】2015年1月24日(土)13:00～16:00(受付終了15:30)
【場所】セッション杉並 展示室(杉並区梅里1-22-32) 東京メトロ 丸ノ内線 東高円寺駅徒歩5分、新高円寺駅徒歩7分 ※自転車駐輪場(無料)があります。
【専門家】弁護士・行政書士・社会保険労務士など
【通訳】英語・中国語・韓国語・フランス語・イタリア語・タイ語・ポルトガル語・ベンガル語・ネパール語
【申込】当日会場へ直接お越しください。予約受付も可能。
【予約問合せ】杉並区交流協会

すぎなみフェスタ 2014

11月8日(土)・9日(日) 開催

於：桃井原っぱ公園／杉並会館
／西荻地域区民センター・勤労福祉会館

ことしもまた「すぎなみフェスタ」が盛大に開催されました。
約8万2千人(2日間)の来場者は、それぞれに秋の日を楽しみました。

「人と人、地域と地域をつなぎ、杉並を元気に」の呼びかけで開催された「すぎなみフェスタ2014」は、回を重ねるごとに、更に豊かで楽しい企画や店舗などで充実し、区民の中に広く定着してきた印象を強くうけました。その一端をご報告します。(広報部Y)



烈車戦隊トッキウウジャーショーのステージ

子どもたちに大人気のエアートランポリン



楽しくアンケート

●回を重ねる毎に内容が充実し、規模が拡大している「フェスタ」、来年も区民のみなさんを元気にしてくれることでしょう。

●テントは、交流自治体物産展、インターナショナルカフェ、杉並おいしいのれん街、ともがんぼう東北(福島・宮城・岩手) その他といった内容で、いずれも来場者を楽しませるための工夫や出品の努力もうかがえ豊富な内容とともに温かさを感じることができました。

杉並区交流協会は、「インターナショナルカフェ〜ホットワインと世界の屋台料理」として出店しました！大勢のお客さんを迎えるほどの人気で、販売にあたった協会サポート委員や留学生のみなさんは休む間もないほどの盛況さでした。



南相馬からは、揃いののはっぴ姿で



交流協会テント前で

留学生や区内の外国の方も手伝いしてくれました！

●ステージは、いろいろな世代向けに多彩なプログラムが行われました。子ども向けにはアニメの世界を、学生若者たちには音楽やダンスといった内容が次々に披露されました。いずれも素晴らしいもので、それぞれ発表に向けて真剣に取り組んだ様子も伝わる熱演でした。

2014年 海外文化セミナー

まるごと台湾フェア開催

9月27日(土) 於：杉並区立産業商工会館

昨年に続く2回目の台湾フェアに2,000名を超える来場者をお迎えしました。キッチンカーでの台湾料理やタピオカドリンクの販売、物産販売、台湾茶講座、台北の中学生との野球交流のパネル展、映画「KANO」の紹介など、盛りだくさんの内容に時間が足りないと言っていました。

午後からは一青妙さんの「私の台湾アイデンティティ」と題する講演を聞き、林思悦さんの二胡演奏を楽しみました。一青妙さんは台湾人の父と日本人の母との間に生まれましたが、台湾で暮らしたのは11歳まで。日本人として育った一青妙さんが、台湾とのつながりを再確認するプロセスを交えた台湾各地の紹介はたいへん興味深く、また二胡演奏には「心が癒された」方が多かったようです。

訪日外国人は10月末時点で1100万人を超えました(前年比27%増)。台湾人は238万人と最多です。杉並区には600人ほどの台湾人が暮らしています。これからも近くて親しい関係が続くことを願っています。(広報部T)



二胡演奏者 林思悦さん



講演 一青妙さん



台湾の人気キャラクター「OPENちゃん」も登場

交流自治体フォーラム in 北塩原村

昨年は初回として区立杉並会館で開催しました掲題フォーラムを、今年は福島県北塩原村に会場を移して、杉並区及び下記8自治体からの合計31名の参加者により2014年11月12日(水)～13日(木)に開催されました。以下は本フォーラムに参加した交流協会の職員からの報告や資料などを基に、交流協会活動の一端の紹介記事として概略をまとめたものです。(広報部Ka)

本フォーラムの目的は、「人と人、地域と地域をつなぐ」交流事業実現のために必要な、日頃の自治体間交流や連携をスムーズに図るために、各自治体の担当者の顔が見える関係性を構築できる対話の場として設けられたものです。

初日は、村長の歓迎の挨拶に続いて、「新時代の自治体間交流・連携の可能性について」というタイトルでの坂野喜隆氏(流通経済大学法学部准教授)による基調講演が行われ、自治体間の交流が効果的に機能するためには、人と人の繋がりが重要であるとの趣旨の話がありました。これは交流協会が目指している考え方と軌を一にするものであり、各自治体からの参加者たちにも説得力のある内容でした。



坂野氏による基調講演

次いで北塩原村商工観光課から「わが村の課題」について発表が行われ、その後は二つの分科会に別れ、参加者同士の意見交換が行われました。第一分科会では『各自治体を訪れる「お客さま」を如何にして「ファン」に変えるか』につき、「ワールドカフェ」という対話手法を使ったグループディスカッションで行われ、「お客さまをファンに変えるためには、まず自分が自分のまちの魅力をよく知り、自分のまちのファンになることが必



盛り上がる議論

要である」などの意見がでました。第二分科会では各自治体の企画政策部門担当者による「新たな広域連携」をテーマとした意見交換が行われ、各自治体が各地域で抱える課題を解決するためのアイデアを出しあいました。両分科会とも熱心な議論が行われ、参加者にとっても今後の活動のための有意義な場となりました。

2日目はジオガイドの案内で、参加者に対し魅力あふれる裏磐梯のジオツアーが行われました。あいにくのみぞれ模様の天気ではありましたが、参加者は前日の夜には各自治体の地酒を持ち寄った交流会を持ったこともあり、お互い打ち解けた雰囲気の中、北塩原村の自然を満喫しました。

今回参加したことで、交流とは「人と人とのつながり」であることを改めて実感、各自治体の担当者同士が集う本フォーラムの意義を感じることができました。また、今後も継続して開催することで「顔が見える関係」のつながりが可能となり、交流を持続させる仕組みとして有効に機能するものと実感しました。北塩原村を後にするころは雪が積もり始め、東京よりも一足早い冬の到来を感じながら充実した気持ちで帰路につきました。



参加9自治体

参加自治体 北海道名寄市・群馬県東吾妻町・新潟県小千谷市・福島県北塩原村・福島県南相馬市・東京都青梅市・山梨県忍野村・静岡県南伊豆町・東京都杉並区

平成26年度 交流自治体中学生親善野球大会開催

10月11(土)～13日(月・祝) 於：上井草スポーツセンター、立正佼成会普門地下ホール

平成23年度から始まったこの野球大会も、今年度で4回目を迎えました。今年度は、杉並区2チーム、台北市2チーム、南相馬市、名寄市の各1チーム、新たに南伊豆町の1チームが参加して開催されました。

試合2日目は、台風の影響で雨模様でしたが、7チーム101選手による熱い15試合が、多くのボランティアの方の協力で行われました。試合の間には宮本慎也氏(元ヤクルト選手)の野球教室も開催されました。

試合前日には交流夕食会も開かれ、友好を深め、言葉や地域を超えて、様々な「白球の絆」が生まれたと思います。(広報部K)



↑参加全7チーム



↑宮本氏の野球教室

